

岸本 眞一郎

避難場所

災害時の避難場所の確保は
町長／公共施設で101ヶ所

問 災害時避難計画の策定状況と避難場所の確保や地域住民への情報提供などの状況は。

答 町長 今、町民の皆さんにお示ししているのは、避難場所として各集落、地区公民館とか、小学校跡地など公共施設101ヶ所を挙げている。さらに情報がなかなか周知されていない状況を踏まえ、暮しの情報コーナーで周知したり、広報を通じて保存用のいわゆる



智頭地区の避難場所である
智頭小学校体育館

る避難場所を明記したものを配布するよう考えている。ハザードマップ等の作成を検討しながら災害の状況に応じた避難場所を示して行きたい。

企業誘致

思い切った政策での企業誘致を
町長／智頭町に見合った企業を心がけて

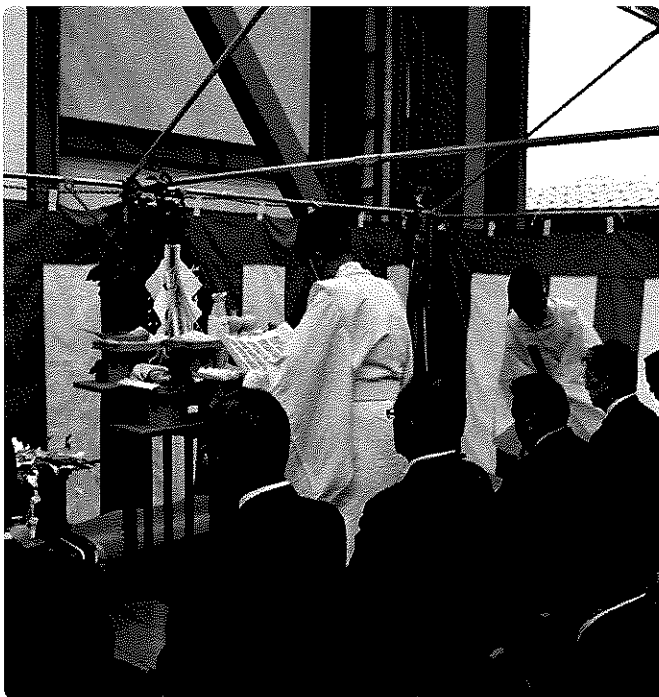
問 高卒の就職希望者の8割近くが県内を望んでいる現状から見て智頭町としても企業誘致はもとより町内事業所等に対する支援を通じて雇用の場を確保することは、町民の安心や町の活力を高めるためにも最重要課題だと考えるが、企業誘致の現状と今後の見通しは。

答 町長 企業誘致の最大の目的は当然雇用の拡大と税収の増加であり定住化と生活基盤の安定に向け町の重要課題と位置づけて取り組んでいる。智頭テクノパークを工業用地として整備して、平成18年以降太陽光発電関連会

社など数件の企業進出の打診があったが現在のところ誘致には至っていない。
私は町内に見合ったということを心がけながら慎重にやっている。今も、数件の話がきている。

問 町内事業所等への支援策は。

答 町長 町内事業所が町に具体的にこういう応援をしてくれという話になれば、町執行部が考え議会の皆さんと相談しながら地元企業優先で応援すること、は当然やるべきことだと思っている。



町内誘致企業の新社屋完成式典の様子